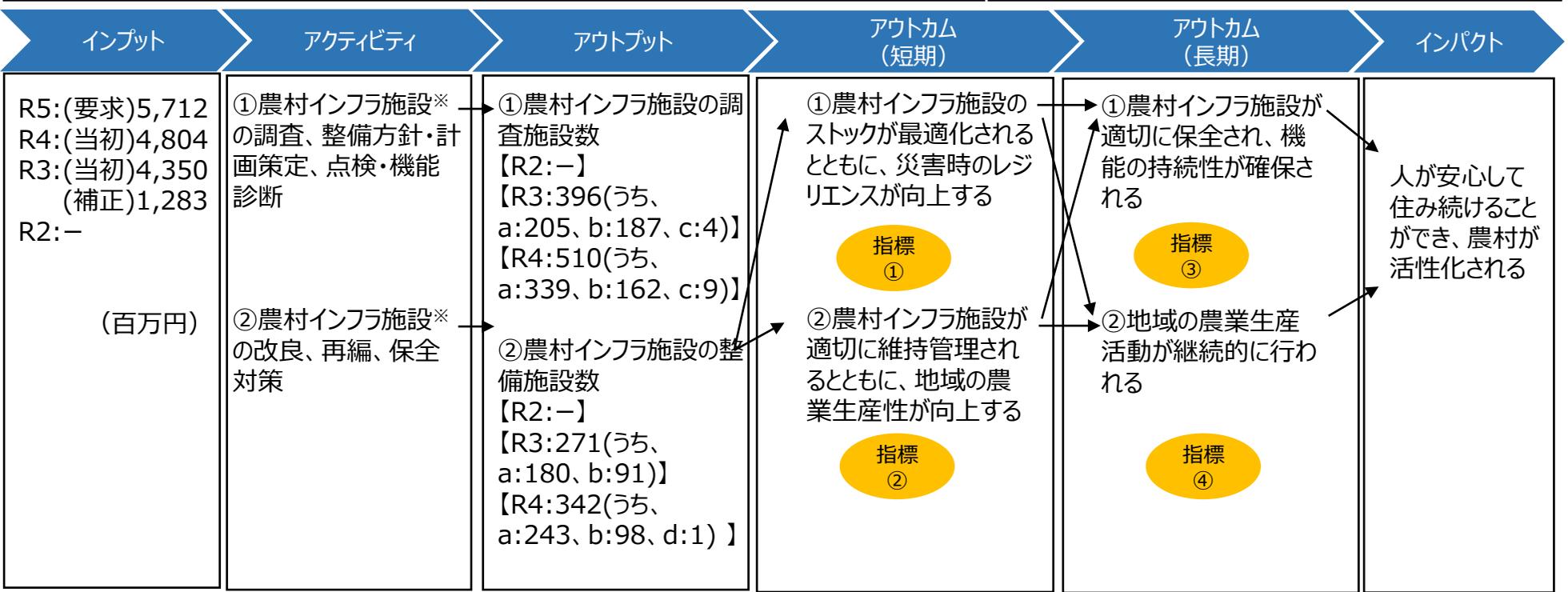


事業等名	農村整備事業 （令和5年度要求）	担当部局	農村振興局地域整備課
-------------	-------------------------	-------------	------------

(現状・課題)
 ・農村インフラの老朽化や災害の激甚化に伴い、営農や日常生活への支障が発生するリスクが増大することから、適切なインフラ整備が必要。
 ・農村において、営農や日常生活におけるリスクを低減し人々が安心して住み続けられるとともに、その活性化を図っていくためには、農村インフラの改良、再編、保全対策を推進していく必要。

(現状・課題を示すデータ)
 標準耐用年数を経過している施設数（R2時点）
 ・農業集落排水施設 約3,000/4,800地区（約6割）
 ・農道橋・トンネル 約580/3,500か所（約2割）



※a：農業集落排水施設 b：農道・集落道 c：営農飲雑用水施設 d：地域資源利活用施設（発電施設） e：集落防災安全施設

- 指標①** 事業完了施設（強靱化）のうち、適切なストックマネジメントや耐災害性が強化された施設の割合
 R3：100%、各年：100%（目標）
- 指標②** 事業完了施設（高度化）のうち、農村インフラ整備計画等に定める維持管理コストの低減や農業生産性の向上・労力削減等に関する目標が実現された施設の割合
 R3：100%、各年：100%（目標）

- 指標③** 強靱化された農村インフラ施設の機能が、持続的かつ適切に保全されている施設の割合
- 指標④** 高度化された農村インフラ施設による維持コストの低減や農業生産性の向上・労働削減等の効果が継続的に発揮されている施設の割合

外部の影響要因
 ・ 新型コロナウイルス感染症の再拡大 ・ 大規模災害の発生 ・ 道路、上下水道事業 ・ 農業農村整備事業